カーボンフットプリント 登録情報

1. 製	1. 製品情報							
1.1	登録番号	CR-BW02-12002	1.7 製品写真					
1.2	製品名称(日本語)	菌床しいたけ240gトレイ						
1.∠	製品名称(英語)	240g tray pack siitake by sawdust-based cultivation	William William Const.					
1.3	製品型式	_						
1.4 製品の主要仕様・諸元		広葉樹のオガ屑(ノコ屑)と少量のフスマ、糖類など、栄養源を混合して固めたブロック状の培地に種菌を接種し一定の温度管理のもとに栽培したしいたけ240gをトレイ及びラップで包装したもの。						
1.5	CFP算定単位 単位重量当たり(100g当たり)		A CONTRACTOR OF THE STATE OF TH					
1.6	公開日							

2. 事	2. 事業者情報			
0.1	事業者名(日本語)	久保興業株式会社		
2.1	事業者名(英語)	kubo-kogyo corporation		
2.2	電話番号	0893-44-3125(代表)		

3. C	FP算定結果およびCFP宣言の内容				
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリ ント)	0.50 kg-CO2e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)			
	内訳(ライフサイクル段階別、ブロセス別、フロー別、等)				
	原材料調達段階	0.031	kg-CO ₂ e		
	生産段階	0.35	kg-CO ₂ e		
3.2	流通段階	0.020	kg-CO ₂ e		
	使用・維持管理段階	0.087	kg-CO ₂ e		
	廃棄・リサイクル段階	0.018	kg-CO ₂ e		
	数値表示、追加情報の内容				
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>		
		500g	生しいたけ100g 当たりCO2排出量		
3.3	追加情報 の記載内容	栽培データ:2011年1月〜2011年12月 CO2排出量には、調理及び冷蔵保存による排出量を含む。 販売単位(出荷時240g) 当たりCO2排出量:1.2kg 栽培時のCO2排出量低減のため加温設備燃料の一部に木質ペレットを使用しています。			
3.4	備考	愛媛県内子町産の製品です。当社は、しいたけの菌床の原料から栽培過程、廃棄に至るまで エコを考えた仕組み作りに取り組んでいます。加温設備燃料での一部、バイオマスエネルギー利用の他、廃菌床ブロック、しいたけ残渣は堆肥利用、段ボール類は、100%リサイクル利用する等、環境に配慮した製品づくりに努めています。			

があるものの、データライブラリー等規定データでの類似選択により前回算定の原単位と異なる数値を利用したため、値が変動してきていること。 ③今回、LCAデータを最新の2011/1月~12月のもので再計算をおこなっていること。等があげられる。 以前の条件にて、LCAデータを最新の2011/1月~12月のもので再計算をおこなった結果、試行事業の際のCFPと比較して、「原材料調達段階」、「生産段階」、においてともに単位重量当たりCO2排出量が減少してきていた。これは、旧データと比べて生産量に対して、原料使用量や電力使用量が減少していることに多くは起因していることから、栽培ノウハウの蓄積や1CA方式によるエネルギー利用の全体理解等も影響して、生産性や効率性が向上したため原材料調達段階や生産段階等で排出量が減少したものと考えられる。「流通段階」は変わらず、「使用・維持管理段階」「廃棄・リサイクル段階」は、PCRにおける原単位が修正されたため、大幅に増加したものと若干変動している箇所がある。なお、	I	4. C	FP算定結果の解釈	
		4.1	CFP算定結果の解釈	①PCRの一部変更がなされ、その結果「使用・維持管理段階」「廃棄・リサイクル段階」は、PCRにおける原単位が大きく修正された。 ②原単位関連において、利用可能データライブラリーの整備等なされたが、不足する原単位があるものの、データライブラリー等規定データでの類似選択により前回算定の原単位と異なる数値を利用したため、値が変動してきていること。 ③今回、LCAデータを最新の2011/1月~12月のもので再計算をおこなっていること。等があげられる。 以前の条件にて、LCAデータを最新の2011/1月~12月のもので再計算をおこなった結果、試行事業の際のCFPと比較して、「原材料調達段階」、「生産段階」、においてともに単位重量当たりCO2排出量が減少してきていた。これは、旧データと比べて生産量に対して、原料使用量や電力使用量が減少してさていた。これは、旧データと比べて生産量に対して、原料使用量や電力使用量が減少していることに多くは起因していることから、栽培ノウハウの蓄積や1CA方式によるエネルギー利用の全体理解等も影響して、生産性や効率性が向上したため原材料調達段階や生産段階等で排出量が減少したものと考えられる。「流通段階」は変わらず、「使用・維持管理段階」「廃棄・リサイクル段階」は、PCRにおける原単位が修正されたため、大幅に増加したものと若干変動している箇所がある。なお、「原材料調達」、「生産段階」での利用原単位の変更により、その変化は数値上は表れなく

5. 第	定条件				
5.1	認定CFP-PCR名称	きのこ類	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-BW-02
5.3	利用した二次データの考え方	カーボンフットプリントコミ 用しつつ、利用可能データラ	ミュニ	ケーションプログラム ラリで補完した。	基本データベースver. 1.01 を優先して利

6. 検						
6.1	検証方式	個品別検証方式	6	システム認証番号		
6.3	検証番号	CV-BW02-12002	6	検証有効期限	2015 年10 月29 日	

ı	7	備考	(事務局使用欄)

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。 http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html